

# 2023年7月7日 第3436回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 藤村 会長

<斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱和> 「四つのテスト」

<誕生月祝> \*瀬戸 映 男 (S.26.7.2) \*仁 平 純 一 (S.47.7.6)  
\*石 田 裕 樹 (S.57.7.7) \*小 山 陽 生 (S.36.7.9)  
\*大 野 健 男 (S.60.7.12) \*新 倉 良 是 (S.48.7.16)  
\*鷺 尾 精 一 (S.38.7.16) \*小 山 美 智 恵 (S.46.7.19)  
\*伊 藤 隆 義 (S.18.7.21) \*波 島 顕 明 (S.8.7.22)  
\*松 本 明 弘 (S.26.7.28) \*杵 渕 哲 也 (S.47.7.31)  
\*二 瓶 淨 幸 (S.29.7.31)

各会員

<入会月祝> ・徳 永 良 輔 ・勝 間 佳 枝 ・福 西 美 子 ・鈴 木 豊 司

・中 村 正 ・梁 井 康 市 ・鷺 尾 精 一

各会員

<会長報告> \*ガバナー事務所より

・ロータリーレート変更について 7月1日から1ドル145円 (現在140円)

・上半期人頭分担金送金依頼について

・インターアクト委員会/アクターズミーティング開催のご案内について

7月9日(土) 13:00~14:00 委員会

14:00~アクターズミーティング 於:アイクロス湘南6階

・インターアクト委員会/IAサマーズミーティング開催のご案内について

7月22日(土) 12:00~12:30 IA委員会

13:00~17:00 IAサマーズミーティング

於:第一相澤ビル

<委員長報告> \*雑誌委員会 鈴木(豊)委員長から「ロータリーの友」7月号

<幹事報告> \*第1期分会費納入のお願いについて

\*例会終了後 地区研修・協議会打ち合わせ開催

\*「みんなで楽しむコンサート2023」のチケットが4枚あるので希望者は幹事へ

<出席報告> \*出席委員会 曾我委員長より7月7日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
120名	112名	92名(6名)	20名	0名	82.14%

<ニコニコ報告>

・瀬戸、仁平、石田、小山、大野、

新倉、小山、松本、杵渕、二瓶 各会員 誕生月祝いとして

・勝間、福西、鈴木、中村、梁井 各会員 入会月祝いとして

・三 役 新たな一年の始まりです。皆様に喜ばれる一年に致します。よろしくお願い致します。

・木村、大野、椿、児玉、岡田、大石、比護、南、石田、兼城、八巻、

永井、野坂、北村、梁井、岡田、八木、齋藤、福西、田中、長尾、

杉浦、寺田、澤田、勝間、権田、小平、畑、小沢、新倉、関口、

江口、Robinson、若麻績、佐久間、松岡、上林、飯塚、谷、中村、外木、

根岸、江沢、Enora、齋藤、平松、渡邊、山下、宮島、杵渕、加藤、

勝見、小山、中村、笠木、三堀、田邊、二瓶 各会員

新年度が始まりました。三役・理事、SAAの皆様、1年間どうぞよろしくお願いいた

します。また、本日のご挨拶も楽しみにしています。

・小林(一)、濱田、八木 各会員

藤村会長年度、理事を務めさせていただきます。1年間よろしくお願い致します。

・齋藤(秀) 会員 新年度 今年も1年間よろしくお願ひします。今年度は地区ローターアクトです。

・前田直前会長 新年度の躍進に期待しています。藤村会長頑張ってください！

・高橋、石田、加藤(博)、長尾、小沢、臼井 各会員

新年度の最初の例会が七夕というのは素敵なことですね。明日から雨模様ですが、1年に一度織姫と彦星が会えますように。

・大石、高橋、石田、鈴木(悦)、荻山、長尾、小沢、鈴木(豊)、小保内 各会員

本日から甲子園予選神奈川大会が始まります。コロナ禍に学校生活を過ごした球児たちが青春を取り戻せるよう熱いプレーを期待しています。三浦学苑、横須賀学院がんばれ！

・杉浦 会員 写真をいただいて

・角井SAA、小山(美) 副SAA

楽しい例会となるよう1年間頑張ります。ご声援よろしくお願ひいたします。

## <卓 話>

## 三 役 ・ 理 事 ・ S A A 挨 拶

### 1. 会 長

藤 村 昌 一

改めまして、今年度会長の藤村昌一でございます。まずは私から新年度冒頭のご挨拶と、そして今年度の活動方針についてご案内申し上げたいと思います。

まず、今年度RI会長のゴードン・マッキナリー会長は「継続」というキーワードを使って、エンドポリオを始めとする過去のロータリーの大切な取り組みをこれからも続けていくことの重要性を強調しております。今年度はこの方針を受けて、基本方針の第一に「ロータリアンの家族の参加」というテーマを掲げたいと思います。と申しますのは、コロナ禍でさまざまな行事の中断が余儀なくされたことで、例会や親睦会に家族を同伴して参加するというロータリー独特の習慣が徐々に失われつつあるように思われるからです。近年、ロータリーは地域社会に向け、さまざまな広報活動を通じて、我々の理念や価値観を広めようと図ってきていますが、その入口として、まずは一番身近な家族に対して、我々の活動へ参加してもらうことを通じて、ロータリーの理念や価値観を共有していくことが重要であると思われまふ。ついては、こうした良き伝統を守り、継続していくために、今年度はさまざまなイベントにおいてロータリアンの家族の参加を積極的に案内してまいりたいと考えております。

つぎに、ロータリーの人道的奉仕活動の指標となる「ロータリーの重点分野」において、一昨年の2021年、「環境」という指針が新たに追加されました。従来の6つの指針である「平和構築と紛争予防」、「疾病予防と治療」、「水と衛生」、「母子の健康」、「基本的教育と識字率向上」、「地域社会の経済発展」、といったいずれも人道的な活動に的を絞った指針であります。あらたに「環境」を加えて全部で7つとなった訳です。しかし、コロナ禍であったこともあってか、これまでそのことがあまりPRされてこなかった感がありますが、内容を見てみると、河川や湖沼・地下水などの「淡水資源の保護」、また、多様な生物が共存を続けるための「生態系の管理と保全」、さらに、地球温暖化の原因となる「温室効果ガスの排出削減」など、いずれも、人類の未来を左右する大きな課題が上げられております。従いまして、今年度は、こうした環境問題に関連した卓話や奉仕活動を企画・実施しながら、環境に関する我々の問題意識や知見を深めていけたらと、そのように考えております。

また、つぎに、現在、当クラブが取り組んでいるグローバル補助金プロジェクトである口唇口蓋裂のVT Tに関してです。このプロジェクトは本来3年間で完結する計画でしたが、途中コロナによる中断を挟んだことで、今年度のミッションをもって最終年度となる予定です。従って、次のプロジェクトの準備が必要となりますが、新たな補助金プロジェクトの企画立案には相当な期間が必要となりますので、今から検討をスタートしなければなりません。なお、当クラブは昨年度、中期ビジョンの行動計画としての戦略計画を策定いたしましたので、新しいプロジェクトの企画立案は、戦略計画のトライアルに位置づけられると思ひます。

つきましては、会員の皆様に広く意見を計り、それらを集約しながら、横須賀ロータリークラブならではの新しいプロジェクトを検討してまいりたいと考えております。

つぎに、ZOOMによる例会出席システムの維持、そして変更についてです。コロナ禍でスタートしたZOOM例会は、出席率アップや感染予防に大変有効な方法でしたが、一方で毎回の例会における機材設営や操作に関して、ITの操作にお強いからということで、特定の会員の方々に、大きな負担をかけてまいりました。このため、コロナの5類移行を受けて、今年度はZOOM例会を中断することを念頭に、被選理事会で理事役員に対して意見を募りましたところ、その結果、ZOOMの運用方法は外注に依頼するなど、何らかの方法で見直す必要があるが、ZOOMによる例会参加自体は、今や高齢の会員や遠隔地からの参加の会員にとって必須のツールとして定着しており、是非継続していくべきだ、という意見が大半でした。これを受けて、今年度は、IT委員会に加えて親睦活動委員会にもお力添え頂き、昨年度IT委員会が作成した運用マニュアルを活用しながら、当番制でシステムを運用するスタイルに変更することにいたしました。親睦活動委員会としては、新たな役割が増える形になりますので、その分、ZOOMは夜間例会を除いた通常例会に止めるなど、全体のバランスを考慮しながら、無理のない形で実施してまいりたいと考えております。つきましては、この場をお借りして、皆様方のご理解とご了承の程お願いしたいと存じます。早速ですが、今日の例会から新体制でスタートしております。

さらに、来年4月21日に予定されている地区研修・協議会は、既にご承知のとおり、当クラブがホストクラブを担当いたします。会場は隣の県立保健福祉大学となります。近々実行委員会を立ち上げる予定ですが、会員の皆様全員に何らかの形で委員会にご参加頂くことになる予定です。9年に一度の大事業ですので、第1グループの他クラブにも協力を仰いで、暖かいおもてなしで参加者をお迎えできるように、しっかりと準備してまいりたいと考えております。

この他にも、中断していた交換留学生の受け入れや、横須賀ローターアクトクラブがホストするローターアクト地区年次大会の開催などの重要なプログラムが控えており、今年度はとても多忙な年になりそうな予感がいたします。しかし、その忙しさを一つひとつ全員で乗り越えていく先に、クラブとしての連帯感の強化や、その結果としての会員増強があるのだと信じております。つきましては、この場をお借りして、会員の皆様のご支援をお願いいたしまして、私からのご挨拶を締めさせていただきます。一年間、精一杯がんばっていく所存ですので、どうぞよろしくをお願いいたします。

## 2. 副会長(クラブ管理運営委員会担当)

高橋 隆一

本年度副会長を務めさせていただきます高橋です。よろしくお願い申し上げます。

藤村会長の理念方針を充分理解し、側面より支えてまいります。

横須賀ロータリークラブの運営の基礎を担う会報・雑誌・出席・親睦委員会を担当させていただきますが、クラブ管理運営委員会におきましては、大石朗 会報委員長・鈴木豊司 雑誌委員長・曾我宗光 出席委員長・比護友一 親睦活動委員長、基本的には委員長の裁量にお任せします。

カウンセラーには横須賀ロータリーの重鎮の方々をお願いしましたので、連携をよくとって頂ければと思っています。

また、4委員会の委員の方々は、ロータリー活動の中でも会の運営、親睦、更にロータリー活動を会員の皆様に周知する等大変重要な委員会ですので委員長の下、楽しみながらもしっかりと会の運営に携わって頂きたいと思っております。

委員長の皆様、委員の皆様と一緒にクラブを盛り上げてまいりたいと考えていますので、一年間ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

そして今年一年が来年度への勉強として心身練成し任務完遂を目指します。

## 3. SAA

角井 駿輔

本年度SAAを務める角井でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

SAAとは、「Sergeant at Arms」の頭文字であり、ロータリークラブにおいては「会場監督」と訳されています。このSAAとは、元々は、中世ヨーロッパにおいて、宮廷や議場における秩序

維持や施設管理を統括する官職であったとされます。皆様大好きなポール・ハリスも1906年にシカゴ・ロータリークラブの初代SAAに就任しています。

今年度の方針は活動計画書をご覧頂ければと思いますが、主として①例会の円滑な進行、②楽しい雰囲気づくり、③ニコニコボックスの充実に取り組んでまいります。特に、③ニコニコボックスにつきましては、先代SAAが張り切り過ぎたせいもあり、今年度の目標額が370万円に設定されております。是非ともたくさんニコニコをお願いしますとともに、入れて頂いた際のお名前やメッセージについて丁寧にご紹介させて頂ければと思っております。

私のパートナーとなる副SAAは、地区でも大活躍中の小山美智恵会員です。SAA共々よろしくお願いいたします。

最後になりますが、事務局の三宅さんなくしてSAAの仕事は立ちゆきません。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

今年度一年間どうぞよろしくお願いいたします。

#### 4. プログラム・公共イメージ委員会担当理事

濱田 恵里

今年度プログラム・公共イメージ委員会担当理事を務めます濱田恵里でございます。例会の基本であり出席率に関するプログラムの内容につきましては、会長及び三役の示すテーマに沿い中村清乃委員長のもと興味深く有意義なものを提供させて頂き魅力ある例会になるよう努めてまいります。

また、広報・公共イメージにつきましては、梁井康市委員長のもと様々な方法で地域社会に情報を発信し当クラブ及びロータリークラブ全体の認知度の向上に努めてまいります。

ITにつきましては、木村一郎委員長のもと例会運営にてZoom出席の管理やITを通じた情報発信をしてまいります。一年間、会員皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

#### 5. 会員増強・会員維持委員会担当理事

物井 宏介

先日、エノーラ会員から「今度、ロータリーで何をやるの」と訊かれて、増強という英単語が浮かびませんでした。調べたら、reinforce。内装のリフォームの中にinが足された言葉でした。

増強という外に拡大するイメージがありますが、再び中に形作る。その作業が組織全体を強くするのだと教えられた思いがしました。会員皆様の中にもう一度ロータリーを形作る。そんなお手伝いができればと思います。

そのためにはまず、私自身がリフォームしなければと、昨日思い切ってチョコザップに入会しました。隠れチョコザップの方がいらっしゃれば、一緒にカミングアウトして頑張っていきましょう。

皆様のご理解とお誘いをもちまして、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

#### 6. 奉仕プロジェクト委員会担当理事

八木 達也

奉仕プロジェクト委員会は職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の3委員会を担当しています。ロータリー5大奉仕の内の3つを受け持っていることから大変重要な委員会であり、会員全員で取り組むべき事業も多数担当する委員会です。

特に年度、国際奉仕委員会としては青少年奉仕委員会が担当する青少年交換プログラムが3年ぶりに実施され、当クラブでも台湾から高校2生の男子生徒を8月20日から受け入れることになっておりますので連携して協力体制を取ってまいります。ホームステイや三浦学苑への通学や生活のケアに至るまで1人の高校生の人生を大きく左右するプロジェクトです。どうか会員皆様全員で受け入れるという気概を持ってご協力を頂けたらと思います。また、VTT特別委員会と連携し、引き続きフィリピン、セブロータリーとの共同事業への協力をしてまいります。職業奉仕委員会は前年度再開された横須賀学院中学3年生の職場体験を引き続き行う予定です。会員皆様の事業所への職場体験の受け入れを1日から2日間お願いしております。なるべく多数のまた多職種にわたる充実した体験プログラムを提供したいと思っておりますので、特に今年度初めての事業所様には積極的に参加されますようご協力をお願いしたいと思います。

最後に社会奉仕委員会、こちらは一年を通じての物品販売や、奉仕基金プロジェクト委員会と連携し福祉施設等への支援等、また1万メートルプロムナードクリーン作戦を始めとする他クラブ・他団体と連携しての行事の企画・準備・運営など多くのヒューマンパワーが必要となります。是非皆様のご参加ご協力をすべての行事で頂きたいお願い申し上げます。以上3委員会、今年度は大変忙しくなるとは思いますが、皆様なしでは充実した事業は何もできません。奉仕プロジェクトが充実しているクラブこそ地域に必要とされ、また会員である意義があると思います。そのためにも是非最大限のご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

## 7. 青少年奉仕委員会担当理事

小林 一博

青少年奉仕委員会は、青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会の3つの委員会で構成されます。青少年奉仕委員会は田村委員長、ローターアクト委員会は臼井委員長、インターアクト委員会は小山委員長が今年度は運営していきます。こちらの委員会は、新しい世代の活動や青少年交換学生の交流等を支援、育成していくことを目的とした委員会になります。当クラブでも8月の終わりにローターアクト・インターアクトとの合同例会が予定されております。

担当理事としましては、今年度、藤村会長のクラブ運営方針をもとに、各委員会のカウンセラー、委員長と連絡を密にし、各委員会が活動しやすい環境づくりを支援していきたいと思っております。

また、2780地区のローターアクト委員会、インターアクト委員会の地区活動やイベントの積極的な参加、青少年交換学生の交流支援を通じて、アクトの交流を活発にすることで、発展を図っていききたいと思います。

会員の皆様におかれましては、これからの国際社会やロータリークラブを担う青少年の奉仕活動に、ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 8. ロータリー財団・米山奨学委員会担当理事

齋藤 秀人

ロータリー財団委員会はエノラ・ロジャース委員長、立石文彦副委員長のもと活動していきます。ロータリー会員が人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすこと、それを通じて世界理解、親善、平和を達成すること。財団の標語ですが「世界で良いことをしよう」というのが標語です。寄付につきましては60セントで1人の子供をポリオから守ることができる。50ドルで水を介する疾病から人々を守るために安全な水を提供できる。そして500ドルでいじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ子供たちの安全な環境を作ることができます。具体的には地区で行っているエンドポリオの募金活動に積極的に参加したいと思っております。米山奨学委員会は土田委員長、福西副委員長のもと事業を展開していきたいと思っております。今年1月は41名の奨学生の応募があり、面接を行い、最終的には29名が奨学生として決定しました。また大きなイベントとしては今年の8月5日と6日、筑波で実施されます。当クラブからも10名以上が参加する予定でございます。是非この米山の活動にご理解ご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 9. ロータリー財団補助金プロジェクト委員会担当理事

植田 威

(植田理事は欠席のため、幹事による代読)

R財団補助金プロジェクト担当理事として、VTT特別委員会、ピンクリボン運動特別委員会の2委員会を担当させていただきます。両委員会の目標が達成できるよう、カウンセラー、委員長と連携を密にとり、立案・実施を支援し、調整連携を図ってまいります。

両委員会の活動は補助金を活用した奉仕活動の仕立てとなっています。VTT特別委員会の活動はロータリー財団から提供されるグローバル補助金を活用しています。未来を見据え、補助金にすべてを依存しない、持続可能な奉仕活動のあり方についても検討を行ってまいります。

また、VTT特別委員会で取り組んでいます口唇口蓋裂治療を目的としたフィリピンのセブロータリークラブとの共同事業も、グローバル補助金事業としては最終年度を迎えます。会長の「クラブ活動基本計画」に則り、グローバル補助金を利用する「新しい人道的奉仕プロジェクトの企画立案」を検討してまいります。

「実現性、効果性、必要性などの観点で、アンケート型式で会員皆様の意見を集約し、これまで以上に多くの会員が参画できる広がりのあるプロジェクトを検討、してまいります。

クラブ全員が一体となって取り組めるよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

VTT特別委員会の委員長は山下和男会員、ピンクリボン運動特別委員会の委員長は椿和香会員です。よろしくお願いいたします

## 10. 幹事

鈴木 之一

これまで重ねてこられた歴史と伝統を尊重し、本年度会長の捧げる（掲げる）方針に則り、クラブ運営を心掛けてまいりたいと存じます。会長ならびに各関係委員会と連携を図り、相互の考え方や方向性を尊重し、意味のある活動にするべく努力いたします。理事会における決定事項や方針を各方面と共有し、スムーズな運営を行えるよう努力いたします。会員にとって有意義な例会となるべく例会運営を進めたいと思います。

奉仕の理念を推奨しこれを育むロータリーの目的に鑑み、地区大会、IM、地区協議会、奉仕プロジェクト等々、様々なクラブ行事に会員皆様の参加を頂けるようご案内をしてまいりたいと思います。財務においては健全なクラブの財務管理に努めます。どうぞ1年間皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 石田 裕 樹